

2014. 4

vol. 104

改訂版 vol. 34

# 女性委員会だより

らくだ



公益社団法人 岐阜県建築士会

〒500-8384 岐阜市藪田南5丁目14番12号

岐阜県シンクタンク庁舎4階

〈電話〉(058) 215-9361 〈FAX〉(058) 215-9367



## はじめに

女性委員長 宇佐美 泉

みなさんこんにちは。建築士会は、昨年度より社団法人から公益社団法人へと移行しました関係上、昨年度が一年目ということで、今年度も女性委員長を務めさせていただきますことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年もお話させていただきましたが、建築士会も公益性の高い活動を行い、地域社会に貢献する活動をする必要があるといわれ、私たちも今までの活動を見直し、更にどのような活動をしていけばいいのかを模索しながら活動をしてまいりました。

しかしながら、私たち女性委員会のメンバーは、置かれている立場や生活の状況等様々ですので、いざ活動しようとしても人数が集まらないのが実情です。

もっと参加しやすいような講習会(勉強会)・研修会(見学会)・懇親会等を企画したり、もっとおもしろそうな企画をしていきますので、興味のあることから無理せず参加して下さい。

又、新メンバーも積極的に募り、皆さんと有意義な活動をしていきたいと思っています。今年度も、よろしくお願いいたします。



## 今回の記事

◇はじめに

◇今回の記事

◇今後の予定・お知らせ

◇第56回建築士会全国大会「しまね大会」  
平成25年10月19日(土)

◇見学研修会  
「家具のパモウナ」家具製作工場見学会  
平成25年10月31日(木)

◇第33回 建築文化講演会  
平成25年11月9日(土)

◇新年会  
平成26年1月17日(金)

◇建築士会東海北陸ブロック会 女性建築士協議会  
平成25年度後期定例会議 加賀大会  
平成26年3月1日(土)、2日(日)

◇第13回 気楽にらくだ会&総会  
平成26年3月13日(木)

◇編集後記



## 今後の予定・お知らせ

◆ 東海北陸ブロック女性建築士連絡協議会前期  
平成26年6月21日(土)



## 第56回建築士会全国大会

### 「しまね大会」

神集う國 しまね すべてを引き寄せ 縁結ぶ  
～「ものづくり」の原点を見つめる～

期間:平成25年10月19日(土)

会場:くにびきメッセ(島根県松江市学園南1-2-1)

参加者:3名

期間:平成25年10月20日(日)

地域交流見学会(エキスカッション)

参加者:3名



(会場入り口にて)

## 【1日目報告】

### 大会プログラム

#### ●フォーラム

##### ○島根会セッション

##### ・まちづくりフォーラム

テーマ:松江の文化(レキシ)と新しい視点……

“縁”

##### ・木造フォーラム

テーマⅠ:伝統木造継承のために

テーマⅡ:これからの木造建築の可能性

##### ○実践活動交流セッションの女性委員会担当

##### ・交流セッション(青年委員会担当)

テーマ:木造の可能性、そして建築士会の未来を考えよう

##### ・交流セッション(女性委員会担当)

テーマ:高齢者・障害者の住宅改修において建築士としてできること

・交流セッション(情報・広報委員会担当)

テーマ:木造フォーラム分科会「木造建築とBIM—その効果と可能性—」

・第一回全国ヘリテージマネージャー大会

テーマ:地域の歴史的建造物とヘリテージマネージャーネットワーク

—災害時における社会貢献—

#### ●島根県物産展

#### ●展示ブース

#### ●記念講演会

講師:貴島孝雄氏、

演題:感性を重視したものづくり

“マツダロードスターと建築～使うこと

への愛着と癒しを求めて～

#### ●大会式典

#### ●大交流会

フォーラムの女性委員会担当のセッションで岐阜県女性委員の下川さんが発表をなさいました。

## しまね大会

### 交流セッション②プログラム

## 「高齢者・障害者の住宅改修において建築士としてできること」に参加して

報告者:下川 滝美

#### 第1部

「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」調査結果概要報告。

昨年末から2月までに各都道府県建築士会より提出された事例等118事例の概要を説明されました。内容はホームページで見ることができます。

■生活を支援する居宅サービス 資料

<http://www.kenchiku-cpd.jp/~photo/dl/2013/seikatsu-shien.zip>

## 第2部 「事例報告と今後の課題」

改修事例3事例の発表がありました。

私も3番手として事例の発表をさせていただきました。

私の事例は自宅の改修事例で義母の症状の変化に合わせて改修をしたものです。

その後パネルディスカッションを行い、高齢者等の住宅改修において他職種の連携が大切だということと住まいづくりのプロである建築士がかかわることの意義などを共有しました。



この発表にあたり、私は前日から島根県入りしました。発表者である徳島県の中村さんは徳島士会として高齢者住宅改善アドバイザーとして対応されてきました。また岡山県の中山さんはボランティア団体手すりの会として活動されています。ブロックの女性委員の方々との交流もさせていただき、また高齢者の住宅改修についていろいろな情報を得ることができ有意義な時間をすごすことができました。

## 第56回建築士会全国大会

### 「しまね大会」に参加して

報告者:宇佐美 泉

10月19日、長瀬さんと全国大会に参加するため、早朝の新幹線に乗りました。JR岡山駅で、「特急やくも」に乗り換えて松江へ。

大会式典までの間に市内観光をしました。市内を循環する「レイクラインバス」の一日券を購入して、まずは松江城へ。その前にお昼ご飯・・・駐車場のおじさんの紹介で行ったレストランで、あらかぶという魚の煮付定食をいただきました。とてもおいしかったです。



(ランチのセットです)

昼食後、松江城に行きました。松江城は、1161年堀尾吉晴公により築かれ、現在は国の重要文化財に指定されています。天守は、外観4層内部5階地下1階からなり、最上階は内部に廻縁高欄があり、ぐるりとひと回り出来ました。わたしたちは、一気に最上階まで上がり段々と下ってきました。最上階はとても気持ちよく風が行き渡り、宍道湖や市内が一望出来ました。



(松江城天守閣から島根県立美術館を見る)



次に、小泉八雲記念館へ見学に行きたかったのですが、時間の関係上道路から中をのぞいて、大会式典会場の「くにびきメッセ」へと移動しました。



(小泉八雲記念館)

午後3時から式典が始まりました。ここで、前日より参加の下川さんも加わりました。下川さんは、女性委員会担当の交流セッションにパネラーとして参加され、高齢者・障害者の住宅改修について発表されました。私たちは参加できませんでしたが、今度委員会で発表していただきます。

まず初めに、オープニングアトラクションとして「石見神楽」を観ました。これは元来、石見地方に伝わる伝統芸能で、五穀豊穡に感謝し氏神様に奉納されてきたものが、現在は郷土芸能になったそうです。とにかく凄い迫力とダイナミックな動きに圧倒され、20分間見入ってしまいました。本当にすごかったです。

次に、島根県の紹介が映像で流れました。島根県建築士会会長 足立正智氏を始め、日本建築士会連合会会長 三井所清典氏の挨拶、表彰式、ご来賓の挨拶と滞りなく進行していきました。



(石見神楽の龍の舞)



(会場廻りに立っていたのぼり)

私たち3人は式典会場を出て、再びレイクラインバスで島根県立美術館へ行きました。美術館は宍道湖畔に建っていて、そこからのきれいな夕陽(日の入り)を観ようと……。でも、雲が多くてみることはできませんでした。



(宍道湖の風景)

美術館は1998年竣工で、鉄骨鉄筋コンクリート一部鉄骨造地上2階建て、延べ床面積 12498.88 m<sup>2</sup>で、菊竹清訓氏設計。大きな白い布が風にたなびく様な外観でした。

なかでも、屋外展示の「宍道湖うさぎ」が人気で、それは12羽のブロンズのうさぎがぴょんぴょんと飛び跳ねている作品で、前から2番目のうさぎに触ると幸せが訪れるという噂で、私も下川さんもしっかりと触ってきました。

私たちにはお互い、年頃の娘がいますので御利益があると聞くと何でもしてしまいます。(翌日の出雲大社も……)





(島根県立美術館入り口にて)



(島根県立美術館とブロンズのウサギ)

美術館を後にし、一度ホテルに帰り、夕食を食べに松江の街へ出ました。海の幸を堪能して一日目は終了しました。

## 松江の町を散策して

報告者: 下川 滝美

セッション②の出番が午後でしたので朝から松江の町を歩いてみました。

会場である「くにびきメッセ」に荷物を預け川に沿って松江城まで散策しました。

約25分。川を左手に見ながら歩きます。

印象として松江はとてもきれいな町です。

途中高齢者の方がごみを拾っておられました。

そんな活動もまちづくりには大切なんだと思いました。

歩行者スペースが広く安全な配慮がされた町だと感じました。

朝9時すぎでしたが商店街の皆さんが庭先を箒で掃いていました。

横断歩道の点字ブロックは岐阜と同じ白色でした。



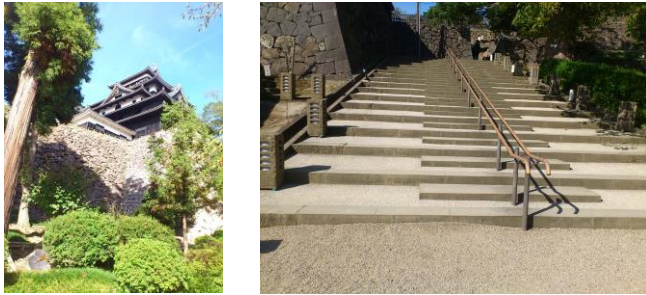
看板も低めで交差点では見やすく工夫されています。



また商店街の道はスピードが出せないように狭く、ところどころに待機スペースがありました。



松江城は石積みの上にそびえ立っています。この階段を上っていきます。大変疲れましたが手すりが見ん中についておりひざを負傷していた私には助かりました。



また松江市はパーク&ライドが整っており市内観光はレクリンバスでゆっくりと観光ができます。バリアフリー車両もありすばらしいなと感心しっぱなしです。



下の写真は恒例の全国大会のお弁当です。



## 【2日目報告】

平成35年10月20日(日)

【地域交流見学会コース一覧】

Aコース 出雲大社御参拝&大社駅&歴史博物館での神話と古代ロマンの探訪

Bコース 世界遺産「石見銀山」の街を訪ねて&特産石州瓦の工場見学

Cコース 足立美術館・ゲゲゲの女房のふるさと安来そして境港市を訪ねて

Dコース 豊かな自然の宝庫「隠岐島」探訪

Eコース 山陰の小京都「津和野」と「益田」を訪ねて

※私たち岐阜県女性委員3名はAコースに参加。

## 「出雲大社御参拝&大社駅&歴史博物館での神話と古代ロマンの探訪」に参加して

報告者:長瀬 八州余

二日目は朝8時にJR松江駅南口に集合です。少し早めに行きましたがもうすでに多くの方が集まっていました。このコースはバス5台のツアーです。集合順にバスに乗り込み定員になりしだい順次出発です。

今年出雲大社は60年ぶりの式年遷宮で多くの参拝者があり、すごく混んでいるとのこと。道路も渋滞が予想されるので、早めに移動する必要があるとのことでした。1号車は8時前に出発することができました。車内には案内ガイドさん(観光県のプロジェクト 神話のかたりべの会)2名が乗っていて、出雲大社の歴史等の説明を受けました。滞在時間が短いのでバスの中でできるだけ説明をしておきたいということでした。

時間がまだ早かったので渋滞することなく駐車場に着きました。雨が少し降っていました。

出雲大社では神楽殿でご祈禱後、八足門をぐり楼門前にて正式参拝をすることができました。ここでお参りをすることができるのはお正月五カ日だけだそうです。観光ガイドさんは「ここまで入ることはすごいことなのですよ」とおっしゃっていました。島根建築士会の方のお骨折りがあったからだと思います。





(下りの参道 この途中に祓いの社があります。)



(神楽殿内部 結婚式がおこなわれていました。)



(松並木の参道 昔は中央を通ることができるのは皇族の人達だけでした。)



(袈裟？を入り口でもらい、神楽殿内部にてお祓いを受けます。)



(社殿)



(八足門 普通はここでお参りなのですが、今回はこの門の奥の楼門前まで進むことができ、そこでお参りすることができました。横の戸より入ります。より神聖な所なので内部での写真撮影はNGということです。より神様に近いところでお参りができるということだそうです。)



(神楽殿 日本一大きなしめ縄です。)







(神社の近くには神主さんたちのお住まいがあります。青い上着を来ている人が島根県建築士会の人です。)

本当に多くの方が参拝に来ていて、御札をいただくの  
にずいぶんと並ばなくてはなりません。

参拝後古代出雲歴史博物館を見学します。ここには  
国宝の銅剣、銅鐸が展示してあります。出土した数が多  
くて圧巻です。



(古代出雲歴史博物館)



(銅剣)

昼食会場の島根ワイナリーに向かいます。ここでは  
昨日今日と二日間イベントが行われており多くの方が集  
まっています。ワインの試飲をすることができ、おいし  
いワインをいただきました。ツアーの人数が多くなったの  
で、1、2号車はここでの昼食で3、4号車は次に向かう  
須佐神社のそばのゆかり館というところで 昼食でした。



(昼食の様子)

ワイナリーから山道をバスは進みます。パワースポット  
で有名な樹齢1,200年の大杉のある須佐神社についま  
した。お参りをして帰路につきます。



(須佐神社にて)



(須佐神社の大杉)

私たちはJR出雲駅でバスにお別れをしました。  
特急出雲は出雲駅が始発なので自由席でも座ること  
ができましたが、松江駅からでは立っている人もいま  
した。

少し雨に降られましたが、無事に帰ることができ、初  
めての島根県を楽しむことができました。すごく遠いの  
かなあと考えていましたが、行ってみるとそんなでもなく、  
穏やかな気持ちの良い所でした。



## 見学研修会

### 「家具のパモウナ」家具製作工場 見学会

日時：平成25年10月31日(木)

会場：(株)パモウナ 高富工場

参加者：23名(女性委員13名+インテリアコーディネータークラブ5名+一般会員5名)

岐阜支部、岐阜インテリアコーディネータークラブと共催

### 研修会に参加して

報告者：桂川 麻里

女性委員会に入会して、初めて見学会に参加させて頂きました。

まず、(株)パモウナさんのご好意により、岐阜都ホテルの「四川」にて食事を頂きました。

四川料理なので辛い料理がある事を覚悟していましたが、味のある辛さで、どれもおいしく頂きました。

また、オーダーバイキング形式の為、料理を取りに席を立つ必要がなく、焦ることなく先輩会員さんや私と同じ新会員さんと会話をしながら楽しく食事ができました。



(食事前に女性委員長の挨拶)

工場見学では、収納家具メーカー『(株)パモウナ』の高富工場にて既製品収納家具のセミナーをして頂き、また製作工場の見学をさせて頂きました。

セミナーでは、パモウナさんの商品である「既製家具」と「メーカー家具」、「造作家具」のそれぞれのメリット・デメリットを教えて頂きました。

新築物件では今まで採用検討すらしたことがなかった「既製家具」が検討材料となりそうです。

製作工場では、高品質保持のためにしている内容に驚きがたくさんありました。

1つ目は、パモウナさん独自の検査基準等が徹底されていることです。

完成品を検査して不良品は廃棄ではなく、工程ごとに作業員が材料の傷等をチェックしその工程で廃棄するという、1工程では時間がかかりますが、全体として無駄の少ない作業の仕方やチェックも私が見ただけでは見落としてしまう程の小さな傷だということ。

また、作業員さん達は、独自に設けた作業資格を得ないと一人でその作業を出来ないこと。

2つ目は、ねじ1本締めるだけでも、二度と同じクレームが来ないように、製作機械に少しずつでも手が加えられ、人と機械の二重チェックをしていることです。

3つ目は、試験機械の種類が豊富なことです。たくさんの試験に合格しているものなので、安心してお客さまに薦められます。

他には、在庫も豊富にあることは然ることながらきちんと整理して保管してある事に感心しました。

今回の見学会は大変勉強になり、また有意義に過ごせました。

知らなかった事が1つなくなると自信にもなりますし仕事の幅も広がるので、これからも出来る限り参加していきたいです。



(セミナーの様子)



(工場内は作業音が大きいためレーザーを個々に持ち説明を受けながら回りました)



## 第33回 建築文化講演会

開催日時: 2013年11月9日(土) 14:00~17:00

開催場所: 岐阜県図書館 1階多目的ホール

講師: 建築家 三分一博志 氏

演題: 「地球のディテール」

当日は学生約20名、一般約100名余の参加がありました。



(受付にて)

## 建築文化講演会を聞いて

報告者: 下川 綾子

年に一度、著名な建築家をお招きして開催される建築文化講演会。

第一線で活躍されている方のお話が聞ける貴重な機会なので、毎年楽しみにしています。

今年の講師は三分一博志氏で、演題は「地球のディテール」でした。

三分一先生は、計画する建物の敷地周辺の地形や気候を正確に調査し、そこにある「動く素材(光、風、水など)」と「動かない素材(地形など)」とを合わせてかたちづくることで、その場所の環境と共存するような建築をつくり出していくスタイルを実践されている独創的な建築家です。

講演では、先生が設計された物件を格好よく編集されたスライドを見せていただきました。

そのスライドと共に作品に込められた思いや、どのような手法で建築に自然エネルギーを取り入れているか具体的な説明をお話されていました。

私の知っている「犬島アートプロジェクト精錬所」や「自然体感展望台六甲枝垂れ」といった作品もデザインばかりに注目していましたが、機械的な冷暖房設備を使わず、温度管理を建物の形状を活かした自然エネルギーでまかなっているそうです。

その敷地固有の地産の材をうまく扱い、それらと共存するように建築を造り上げていくことで、地球の一部として環境に溶け込ませていることを知り感銘を受けました。

犬島や六甲で、先生の作品を実際に訪れて体感してみたいと思いました。

地元広島の地を愛し、自然や地形について熱く語り、私たちの質問に真摯に受け答えしてください。

建築論のみならず、先生の人柄の良さも伝わってくるとても有意義な講演会でした。

三分一先生は年に一回程しか講演をされないとのこと。岐阜でこのような機会を設けていただき、ありがとうございました。



(講演の様子)



(講演後の質疑応答の様子)



# 新年会

日 時:平成26年1月17日(金)

11:00~14:00

会 場:飛騨牛グリルぱくろ(岐阜市米屋町9番)

参加者:12名



(新年会前の会議の様子)



## 第4回女性委員会

### & 新年会に参加して

報告者:上村 志奈

2年程前にオープンした「ぱくろ」にて委員会を行いました。

竹林のアプローチに迎えられ、石畳みを歩くと、店内から店員さんに出迎えていただけました。古民家を改装した店内は入口が厨房になっており、見渡せるようになっています。清潔・安心を感じられ、サービスヤードを逆手にとった間取りを体感しながら店内に案内していただきました。

委員会では報告事項の後、主に来年度岐阜で開催の前期東海北陸ブロック会の運営について話し合いがされました。また、女性委員会の存続方法や全権女の毎年開催についてもアンケート結果等を基に様々な意見が出されました。

議事等の終了後、お食事をいただきました。



(前菜ガーデンサラダ~8種のフレーヴァーソースで~)



(飛騨牛のステーキ ~粒マスタードや葉わさびをお好みで添えて~)



(土鍋炊きご飯、お味噌汁、お漬物)

素材の種類の豊富さに加え、多様なソースの種類に様々な味を堪能できました。ご飯も土鍋でふっくらと仕上がりに、真っ白に輝いていました。しかし、何と言っても飛騨牛です。目の前に出された飛騨牛はレアに近く、この時ばかりは皆無言になりました。(レアが苦手な方はもう一度火を入れていただくことができました。)ソースをつけて口に入れると お肉の甘さが口の中に広がります。粒マスタードや葉わさびもお肉の味を引き立ててくれました。

食事が美味しいと話も進むもので、楽しい時間を過ごすことができました。



女性建築士協議会

平成25年度後期定例会議

加賀大会

日時:平成26年3月1日(土)、2日(日)
開催会場: 山代温泉 ゆのくに天祥
(〒922-0298 石川県加賀市山代温泉19-49-1
電話 0761-77-1234)
【テーマ】「加賀の地で再興を考える」
参加者:5名



会場入り口にて集合写真)

■1日目/3月1日(土)

受付 12:00~12:30
開会式 12:30~13:20
女性全体会 13:30~15:00
分科会 15:00~18:00
第1分科会:「繁栄」~豪商の築いた時代を感じる~
第2分科会:「継承」~伝統的な建築素材と子供たちの
気づき~
第3分科会:「再興」~再興九谷焼の歴史を学ぶ~
懇親会 19:00~21:00

■2日目/3月2日(日)

講演会 9:00~10:30
テーマ「学び考える」~「サイコウ」への実践活動~
講師:瀬戸達氏
発表会 10:30~12:00
テーマ「発表する」~皆で考え発表する
閉会式 12:00~12:30

平成25年度ブロック加賀大会に
参加して

報告者:女性委員長 宇佐美 泉

心配していた雨も何とか降らずに、JR加賀温泉駅に
11時30分ころに着き、迎えのバスに乗り会場のゆのくに
天祥へ。そして休む間もなく開会式が始まった。後期
ブロック大会は、青年建築士協議会と女性建築士協議
会が年に一度合同で開催する大会で、東海北陸各県の
会長も参加され、参加者約200名の大会となった。例
年通り開会式が滞りなく終了し、その後部屋を移動して
女性建築士協議会が開催された。

岐阜からは、高野栄子さん・長瀬八洲余さん・伊藤麻
子さん・井之口洋子さんと私の5名が参加した。会議式
次第通り進行し、報告事項に移り各県の今年度の活
動をスライドをみながら報告した。各県それぞれ活発な
活動報告で、私たちの住育事業も4年目を迎え、何かヒ
ントになることがないかとの思いでいたが、とても参考
になった。

次に、運営委員長より連合会女性委員会及び青年協
議会の報告があった。そして、平成25年度前期富山会
議の議事録が承認された。又、平成26年度の新運営
委員長が承認された。愛知県の筒井裕子氏で、事務局
は自動的に愛知県で、山口ゆずみ氏に決まり承認され
た。

そして、次の開催案内に移った。平成26年度前期
会議は私たち岐阜で開催される為、会議開始前に各委
員の机上に会場のパンフレットを配布し、それに沿って
高野さんが説明した。

日時:平成26年6月21日(日)
場所:岐阜市 長良川うかいミュージアム
詳細は、まだこれから決定だが、皆様のご協力をお願い
します。

最後に、次々回の平成26年度後期会議の案内があ
った。開催場所は富山県砺波市です。以上で、女性委
員会は滞りなく終了した。

分科会が終わり懇親会までの間、それぞれホテルの
チェックインを済ませ、温泉に入る人や休憩する人など
様々に時間を過ごし、午後7時から2階の大広間で懇親
会が始まった。



初めに、クラシックギターの演奏を聴いた。石川県建築士会会長の照田繁隆氏とプロギタリストの太田真佐代氏による素晴らしい演奏だった。いつもとはちょっと違う雰囲気です。宴会は始まった。約200名のお座敷での大宴会だったが、おさしみは新鮮で、暖かいものは暖かいうちに出されて、本当に「おいしゅう ございました。」と感激！とても楽しく和気あいあいと過ごし、9時を廻って懇親会は終了した。

その後、私は深夜にも関わらず2か所の温泉に入った。少し熱めのお湯だったが(私は熱めが好き)露天風呂も満喫して床に着いた。翌朝も起きたら早速、残り1か所のお風呂に入った。とてもいい湯で、大満足だった。とてもいい湯だった。



(会議に出たお菓子 落雁と六方焼き)



(開会式の様子)



(懇親会の様子 200名からの宴会)



(女性全体会 会議の様子)



(ギター演奏の様子)



(女性全体会 会議の様子)



(お食事のお膳)

## 【分科会報告】

分科会 15:00～18:00

第1分科会:「繁栄」～豪商の築いた時代を感じる～

第2分科会:「継承」～伝統的」な建築素材と子供たちの気づき～

第3分科会:「再興」～再興九谷焼の歴史を学ぶ～

### 第1分科会

#### 「繁栄」

～豪商の築いた時代を感じる～

#### B班 蔵六園の見学・古九谷の特徴

#### 解説

報告者:伊藤 麻子

関東圏では大変な大雪が連日ニュースとなっていて、私の住む高山もたつぷり降ったところでした。全国的にそうだと思っていましたが、北陸では例年になく雪が少ないのだそうで、小雨模様ではありましたが、温かく過ごしやすい3月初めの週末でした。

会場であるきらびやかな「ゆのくに天祥」からバスで30分、加賀橋立に到着しました。石川県内では金沢市の茶屋街界隈や輪島市黒島地区と共に伝建地区に指定されていて、赤煉瓦と青みがかった笏谷石の石垣が特徴の街並みでした。

この中の旧酒谷家(国指定有形文化財)「蔵六園」の見学コースです。

そこで最初に伝建地区としての橋立を市役所の方が解説され、次に蔵六園と古九谷の解説を当館の館長がお話くださいました。

橋立地区は江戸後期から明治中期にかけての北前船の最盛期に、その船主や船頭の建築物で成立した町で、大阪から北海道の間を交易して莫大な富を得ていました。

地形的には市街部である丘陵地が海にせり出して、海に程近いけれど断崖絶壁で区切られています。海岸線に沿って通る道路に立ち並ぶ家々は比較的間口が狭く、切妻の妻入りスタイルで、加賀地方の典型的な

農家の平面形式が変化したものとパンフレットにはありましたが、農家というより町家に近い印象を受けました。

中に入ると「オエ」と呼ばれる天井の高い、大きな丸太梁(飛騨ではこれを牛梁(うしばり)と呼んだりします)と厚い差鴨居が紅殻で赤く塗られた素敵な部屋があります。

加賀は北陸のなかでは雪がさほど多くないようで、柱や梁の太さが新潟、富山などの豪壮なそれとは違い、若狭から始まる西日本の雰囲気も混じって瀟洒な雰囲気です。高い縦張りの板や屋根の特徴も雪の多さより風の強さを心配してあるようでした。

雨で街並み見学が中止になり、とても残念です。傘をさしてでも行きたかった・・・

移動時間も長かったので、あっという間に終わってしまい、もう少し長く居たかったと後ろ髪を引かれる思いでバスに乗りました。今度はプライベートで是非ゆっくり訪れたいと思います(温泉も)。



(蔵六園の入り口)



(古九谷の説明を受ける)





(蔵六園の庭園)

## 第2分科会

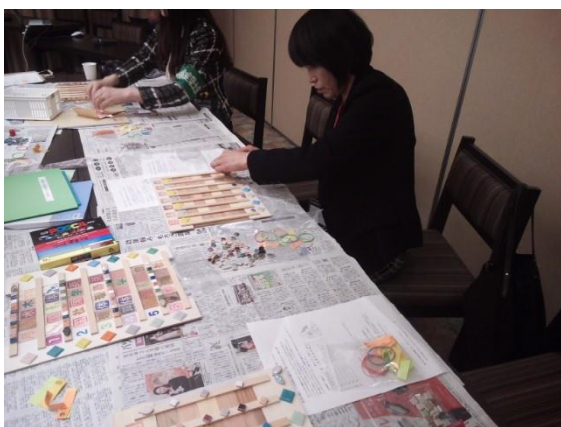
### 「継承」

#### ～伝統的な建築素材に触れる事で 得られるこどもたちの気づき～

報告者: 高野 栄子

第2分科会は福井県の女性委員の皆さんが行われた「住育」活動の報告と、ワークショップでした。

小学校への出前授業を行われた報告は、私たち岐阜県の活動ともつながるところが有り大変参考になりました。また実際に木材についてのクイズをしたり、工作を体験して内容がさらによくわかって良かったです。ちょっと時間が少なくて残念でしたが、なかなか貴重な体験をさせて頂きました。楽しかったです。



(ワークショップで木の時間割(カレンダー)作成風景)

## 第3分科会

### 「再興」

#### ～再興九谷焼の歴史を学ぶ～

報告者: 井之口 洋子

「今回の東海北陸ブロック会は加賀ということで、この時期は雪がすごいのではないかと予想していましたが道中に雪はなく、安心して会場に向かうことができました。

私が参加したのは第3分科会です。「再興」をテーマに九谷焼の歴史を学ぶとのことでした。

まずは県立九谷焼美術館での見学でした。

やはり、建築士会の見学と言うことで担当者の方が九谷焼そのものを説明するというより九谷焼の歴史、山代温泉とのつながりなど、それらが美術館にどう生かされているかを重点的にわかりやすく説明して頂きました。

また、中の展示方法も展示する側と見学者との関係がよく考えてあり、展示を見ているときに隣の人が気にならないようにブースに壁があったり、体をあずけながら見られるような工夫もあり、色々発見がありました。美術館に入ってすぐ見える中庭についても説明があり、いかにスタッフの方がこの美術館を大事に思っているのわかりました。

特に展示されている九谷焼の年代によって内装が変えてあり、目で見るだけでなく体感しているような感じでした。時間が40分ということで、効率よく説明していただいたのですが展示を見る余裕はなくて今度はゆっくりと見学に来たいと思いました。

美術館の見学が終わったあとは、隣にある古九谷の杜親水公園を通り山ノ下寺院群を見学しました。こちらでは加賀市建築職員の方に説明をして頂きました。地元の高山でも景観を保存する為に色々補助金を出して整備するなどしていますので、興味深く見学できました。ちょうど新築中の住宅が近くにあり、そちらも景観を損ねないように色々指定があるようでした。目についたの

は屋根の色です。古代赤瓦という、一律の色でなく表情がある瓦でした。景観保全は住民の方の協力なくしては成り立たない話ですので、それぞれの苦労があることとしました。

最後は蘇梁館の見学でした。平成12年から3年掛けて移築されたという建物でした。内部の梁はとても大きく、迫りがありました。

この建物を一般にも開放してあるということで、床暖房がしてあり、とても過ごしやすい建物でした。

九谷焼の歴史を学ぶのはもちろんでしたが、九谷焼が再興したように建物も再興できるという見学コースだったと思いました。

使い手、住み手と建築の作り手。どちらが欠けても再興は成り立たないのですね。

石川県建築士会の皆様、色々準備大変だったと思いますがありがとうございました。



(内部の展示)



(県立九谷焼美術館 正面玄関)



(美術館内部の階段と石川県建築士会のハッピー)



(入り口にて九谷焼きの傘立て、傘掛け)



(古九谷の杜親水公園)





(山の下寺院郡の町並み)



(赤瓦の寺)



(蘇梁館 全景)



(蘇梁館内部にて説明を受ける)

## 【2日目報告】

■2日目／3月2日(日)

講演会 9:00～10:30  
 テーマ「学び考える」～「サイコウ」への実践活動～  
 講師:瀬戸達氏

発表会 10:30～12:00  
 テーマ「発表する」～皆で考え発表する

閉会式 12:00～12:30

## ブロック会 二日目の報告

報告者:長瀬 八州余

### 講演会

テーマ「学び考える」～「サイコウ」への実践活動～  
 講師:瀬戸達氏

一級建築士・歴史的建造物修復士・景観専門員(特)全国町並み保存連盟常任理事

昭和23年石川県加賀市小塩辻町生まれ、65才。大阪工業大学を中退し1971年に瀬戸設計開設。

(藩)大聖寺町並み景観整備委員会を設立し、後にNPO法人歴町センター大聖寺とする。事務局長として大聖寺の町並み保存活動に取り組み、地元の観光・地域振興に貢献している。

時鐘堂再建や第27回全国町並みゼミ大聖寺大会を開催し、数年前から加賀市文化財レスキュー隊や文化合宿を始めている。

加賀市の建築を通じた歴史的景観まちづくりの第一人者である。(自主自立の景観まちづくり活動中)

瀬戸氏は石川県加賀市大聖寺の「景観町づくり活動inあつたらもんの里」という題で講演されました。「あつたらもん」とはもったいないよりもっと深いところの物、失ってはならない物という意味だそうです。そして活動をすすめるうえで常に問い続けることは「子供と孫にどん町を残していきたいか」ということだそうです。それを芯にしていればぶれることもなく活動が出来ますということでした。

活動の最初は住民による町並み調査から始めました。コンサルタントの人とか大学の教授たちのお仕着せではなく、自分たちの町は自分たちで調査をして住民主体で町作りを進めて行くと、現状から整備課題が見つかり、整備後のイメージを描くことが出来る。それは夢を見ることになる。

活動にはいろいろと苦勞もあるが、議員等の権力者との闘いでもあった。議員等を入れると4年ごとに色分けがおきるので、執行部は全て地区の住民代表となり、長期の計画に支障がないようにする。また、道は行政が作るが、町並みは地元の住民が作るという想いを皆の共通認識にする。

モットーは何事も楽しくやる。そうすると次から次へと新しい和が出来て活動が進んでいきますというお話でした。

本当にエネルギッシュな方でした。

質疑応答も「次の人をどう育てていけば良いのか」という質問に「私は育ててはいない。後から考えると育てていたなあとなる。楽しくやって、やりがいがある活動をしていたら、自然と人は育つものです。」という説明でした。

「これだけ長く活動をしているとへこむことはなかったのですか」と言う質問に「2流コンサルタントと補助金が活動を壊す要因になります。物事、すごく良くなると思いが出てくる、少し良くなるだけだと欲が出ない、こんなに良いわと思う。ステップを経て少しずつ進めて行くとへこむこともないです。」

あとおまけで話して下さったのが、私を嫌っている人を好きにさせる方法を話してくださいました。何があってもその人に対して寄り添って、ニコニコ笑ってつきあっていると、廻りの人があの人をあの人を嫌いではないのではないかと思います。始め、当人もそのように思い始めるものだということです。瀬戸さんはそう やって人を好きにして活動を進めていらっしたのだと思いました。



(講演の様子)

## 発表会

講演後の発表会は、分科会・講演会で学んだ加賀市の現状と背景を念頭に置き、その上で地方都市の再興というテーマに対し建築士として何ができるのかを皆で考え話し合い、グループごとに作成した「サイコウ」を、

キーワードとした短歌(5・7・5・7・7)を発表し合うということでした。

まず個人で短歌を作り、5～6人のグループで一句を選び、それを持ち寄ってA～Eグループごとに一句を選んで全体で投票するという発表会でした。

同じグループになった石川の人にどうして短歌になったのですかと聞いたところ「何かを残して起きたいと思いました。この二日間の感動を言葉に残しておけば又何かの役にたつのではないかとということで短歌となりました。」という説明でした。

栄えある一位は「共に見た あの赤瓦は 我が想い 誰かが見てる 百年先も」瓦施工組合の方の句で、昨日の分科会で自分が携わった仕事を皆で見たときのことを詠まれたということでした。



(結果発表の様子)

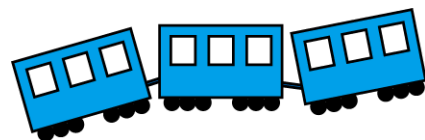
閉会式では新旧委員長さんのご挨拶がありました。富山県の山中路代さんお疲れ様でした。愛知県の筒井裕子さんよろしくお祈りします。

紅白のお餅をお土産にいただいて、会場を後にしました。

電車の出発まで時間があつたので山代温泉の温泉街を散策しました。日曜日だというのに人が歩いていません。季節が悪いからなのか、時間帯が悪いからなのか？。

一日目は雨に降られましたが、二日目は傘を差すこともなく、無事に帰ってくることができました。

担当県の石川の皆さんありがとうございました。







## 第13回 気楽にらくだ会&

### 総会

日時:平成26年3月13日(木)  
 10:00~11:30  
 会場:長良川うかいミュージアム 四阿  
 (岐阜市長良51番地2 電話058-210-1555)  
 参加者:9名  
 セミナー  
 テーマ「在宅で暮らし続けるために～高齢者のための住宅改修」  
 講師:下川滝美

私自身も高齢化による介護をうける必要性が、近づいてきます。家族に過度な負担をかけたくないので、今から、介護について考える機会を与えてくださった事に感謝いたします。



(講師の下川さんを囲んでのセミナーの様子)

## 気楽にらくだ会のセミナーに参加して

報告者:津川 文江

講師 女性委員会 会員 下川 滝美さん

長良川うかいミュージアムの四阿にて、女性委員会会員の下川さんが、昨年の建築士会全国大会にて発表された高齢者・障害者住宅の改修についてのセミナーがありました。

このセミナーの内容は、高齢者が在宅で暮らし続けるためには、どのような住宅改修が望まれるかという事です。

平成元年から下川さんの介護の体験に基づいて 在宅介護の在り方や住宅改修の経緯をわかりやすく説明していただきました。

私には わずかな介護の経験しか無いので、あまり介護について考えたことはありませんでしたが、このお話を聞くと介護が必要になった場合のことを考えるよい機会でした。

在宅で住み続けられるためには、高齢者の健康状態・ライフステージの変化に対応して、家族のサポートや訪問医療・介護サービスをうけやすくするため、あらかじめ高齢者が元気な時から住宅に組み込んでおくことが重要だということを教わりました。

## 平成25年 気楽にらくだ会

### ・総会 報告

報告者:小林 教子

報告(セミナーを除く)

第1部下川さんのセミナー終了後、お弁当をいただきながら女性委員会の総会が開催されました。出席者は一般士会会員の高橋さんを加え9名(委任表提出10名)でした。

6月に開催予定されている東海北陸女性建築士連絡協議会が岐阜県主催でこの会場を使用する予定でもあるので、その時にいただくお弁当を検討したいという委員長の意向もあり、3社の仕出し屋さんをお願いして出前をしていただき、参加者で試食を兼ねました。

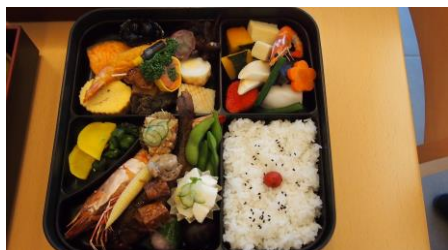
議事は以下の通りでした。

- 1、平成25年度事業報告
- 2、平成26年度事業計画案、予算案が承認され、委員会は奇数月の第2木曜日に原則行うこととなりました。建築士の日は会場が閉市のマーゴが予定されています。
- 3、次年度各担当について承認されました。
- 4、その他、研修内容、見学先など検討がされました。設備の研修や、京都迎賓館、京都大山崎美術館等いろいろな意見が出されました。

さて、試食の経過ですが、女性好みの華やかな盛り付けの仕出し弁当あり、老舗仕出し屋の手間のかかった味わい深い弁当あり、内容の充実した豪華弁当ありで、皆さん楽しみながら食べ比べ、一方で総会の議事を協議しながら、楽しくワイワイ2時間くらいかけて味わいました。結果は、次回東海北陸女性建築士連 絡協議会直前の委員会で、値段を再度検討しがてら、もう一度試食をすることもいいのではないかということとなりました。協議会に参加される方は楽しみにしてください。



(お弁当の試食の様子)



(三種類のお弁当)

## 編集後記

34号をお届けします。  
平成25年度後期の報告となっています。

皆様からの投稿はいつでもお待ちしております。  
また、編集参加、問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員(長瀬)

公益社団法人 岐阜県建築士会  
岐阜市藪田南5丁目14番地12号  
岐阜県シンクタンク庁舎4階  
TEL 058-215-9361 FAX 058-215-9367

<http://www.gifukenchikushikai.or.jp/>

Eメールアドレス [kensi578@juno.ocn.ne.jp](mailto:kensi578@juno.ocn.ne.jp)

※ 女性委員会担当まで宜しくお願い致します

